

日本生命保険相互会社町田支社と 包括連携協定を締結しました

問企画政策課
☎724・2103

市では、地域の活性化や市民サービスの向上を図るため、10月12日に「町田市と日本生命保険相互会社町田支社との包括連携に関する協定」を締結しました。

この協定に基づき、高齢者支援や健康増進に関する取り組みなど、さまざまな分野で連携し、地域の魅力向上に取り組めます。



小野路球場・小野路グラウンド (株)ギオンとネーミングライツ契約を 締結しました

問公園緑地課☎724・4397

市では、新たな財源の確保と公園施設の知名度向上のため、公園施設の愛称を付与する権利であるネーミングライツ(命名権)の スポンサー事業者を募集しました。

選定の結果、(株)ギオンとのネーミングライツ契約により、小野路球場は「小野路GIONベースボールパーク」、小野路グラウンドは「小野路GIONグラウンド」に愛称が決まりました。愛称は2023年4月から使用します。



愛称使用期間2023年4月1日
～2026年3月31日(3年間)
契約金額年額350万円(税別)

3年ぶりの市庁舎開催「まちカフェ！」

仲間とつくる新たな未来 ～エールをつなごう心のブレンド



問「まちカフェ！」実行委員会事務局(町田市地域活動サポートオフィス)
☎785・4871、町田市市民協働推進課☎724・4362

町田市市民協働フェスティバル「まちカフェ！」は、市内で活動する市民活動団体やNPO法人、地域活動団体などが交流を深め、市民の皆さんが地域活動を始めるきっかけとなることを目指すイベントです。

今年度はオープニングイベントをはじめ、市内各地の会場やオンラインで多数のイベントを実施します。なお、一部のイベントは事前に申し込みが必要です。イベントの詳細や申込方法は、「まちカフェ！」専用HP(右記二次元コード)をご覧ください。



開催期間11月26日(土)～12月4日(日)

11月26日(土) オープニングイベント

60を超える団体がマルシェやワークショップ、講演会や映画上映会等を開催します。その中から見どころを紹介します。

日11月26日(土)午前10時～午後4時
場市庁舎



議場でコンサート& 講演会(要申し込み)

町田市議会の議場で、プロのアーティストによるコンサートや、町田ゆかりのアスリートでリオパラリンピック自転車競技のメダリストである鹿沼由理恵氏による講演会を行います。

日11月26日(土)午前10時30分～午後3時

場市庁舎

用「まちカフェ！」専用HPで申し込み。

ダイバーシティ(多様性) イベント

誰もが楽しめるユニバーサルスポーツ「ポッチャ」や「ユニカール」の体験や、多様な方がモデルとして参加するダイバーシティファッションショー「夢collection」などのイベントが目白押しです。

町田Bambooチーム× まちだ自然エネルギー 協議会による竹灯籠展示

町田Bambooチームや市民の方が作った竹灯籠を展示します。再生エネルギーを使用した、町田発のエコで幻想的な竹あかりをお楽しみください。

場イベントスタジオ横(市庁舎1階)

まちカフェ!マルシェ

想いのこもった一品に出会える「まちカフェ!マルシェ」。今年は19団体が出展します。

場市庁舎正面玄関前

※この他に市庁舎内の各スペースで販売を行う団体もあります。



「いいことふくらむまちだ」で 魅力を発信しよう!

問広報課
☎724・2101

町田市ロゴマーク「いいことふくらむまちだ」は、市民の皆さんの町田への愛着・誇りを高め、町田の魅力をより効果的に市内外に発信していくためのシンボルです。

ロゴマークは、市民の皆さんをはじめ、多くの方に使用していただくことを目指しています。ロゴマークの上部に好きな言葉を入れてアレンジ可能で、趣旨に反しない限り、原則誰でも自由に無料でお使いいただけます。使用に当たっては、市HP(右記二次元コード)の「町田市ロゴマーク使用の手引き」をご確認ください。



考えてみよう! 子どもの権利

「子どもの参画」のイベントを実施しています

問子ども総務課☎724・2876、児童青少年課☎724・4097

①子ども参画ミーティング

「考えてみよう!子どもの権利」

「(仮称)子どもにやさしいまち条例」を制定するに当たり、当事者である子どもたちが自由に意見を述べ合い、「子どもの権利」について考えるイベントとして、9月19日に市庁舎で実施しました。当日は中学生～おおむね18歳の子どもが23人参加し、活発な意見交換が行われました。



②子どもたちと小倉こども政策担当大臣の意見交換

10月23日に小倉将信こども政策担当大臣が子どもセンターまあちを視察し、同センターを利用する小学生～高校生10人と意見交換を行いました。

国はこども家庭庁を設置するに当たり、「子どもの意見をどのように政策決定に反映させるか」をテーマに、国内の先進自治体を調査しています。



③若者が市長と語る会

11月5日に子どもセンターただONで実施しました。「(仮称)子どもにやさしいまち条例」をテーマに取り入れ、参加者13人と市長が「子どもの権利」等について自由な意見交換を行いました。



今号の広報紙は、10万2111部作成し、1部当たりの単価は32円となります(職員人件費を含みます。また作成経費に広告収入等の歳入を充当しています)。